



Naniwa  
Honzome



Sakai Gogatsu  
Koinobori

もののはじまり

なんでも堺

S  
A  
K  
A  
I

Sakai Teori  
Dantsu

でん      とう      さん      ぎょう

伝統産業

まるわかり

BOOK



Sakai Uchihamono



Tesuki Konbu

Sakai Senko



さいかい てんとうさんぎょう  
堺の伝統産業  
ものはじまり

# まるわかり年表

せかいじゅう ふんか あつ  
世界中の文化が集まるまち・堺

ぼうえきとし しょうぎょうとし さか さいかい  
貿易都市・商業都市として栄えた堺は、古くから世界各地の人・もの・情報が  
集まるまち。「もののはじまりなんでも堺」といわれるほど、堺では日本を代表する  
歴史や文化がたくさん育まれています。そんな歴史深い伝統産業は、職人た  
ちによって現代まで大切に受け継がれています。

さいかい れきし  
…堺の歴史

さいかい はかせ  
堺ものしり博士

さいかい  
堺のことなら  
なんでも知っている博士。

せかいいさん にんとくてんのうりこころ  
世界遺産・仁徳天皇陵古墳がえられる

こふんじだい  
古墳時代

おとす  
フランシスコザビエルが訪れる  
てっぽう  
鉄砲づくりが盛んに

おだのぶなが おとす  
織田信長が訪れる

こんぶ  
手すき昆布

さいかい て おりだんつう  
堺手織緞通

さいかうち は もの  
堺打刃物

ぼうちょう  
タバコ包丁がえられる

さいかいせんこう  
堺線香

いしづがわそ  
石津川治いで  
和晒業がおこる

さいかい  
北海道から堺までの  
航路が開かれる

なにわほんぞ  
浪華本染め  
ゆかた・手ぬぐい

さいかいけん  
堺県が  
置かれる

めいじじだい  
明治時代

P 2  
せかいじゅう  
世界中の料理人に愛される  
600年続く さいかうち は もの  
堺打刃物

P 6  
とことんこだわった  
てんねんこうりょう  
天然香料でつくられた  
かお げいじゆつひん さいかいせんこう  
香りの芸術品・堺線香

P 10  
せんさい  
繊細な  
てお織りわざ さいかい て おりだんつう  
手織り技・堺手織緞通  
ゆしゆつ  
海外に輸出され大人気に

さいかい こんぶ かこう さか  
堺五月鯉織  
さいかい ご がつこいのぼり  
堺五月鯉織

さいかいけん  
堺県が  
おおさか ふ  
大阪府に合併

しせいしこう さいかいし  
市制施行 (堺市となる)

たいしゅうじだい  
大正時代

もくじ / INDEX

P 4  
さいかい わざらしちゅうせん  
堺で出会った和晒と注染が  
でんとう あざ いんど  
伝統を鮮やかに彩る  
なにわほんぞ  
浪華本染め  
ゆかた・手ぬぐい

P 8  
「コンブロード」でやってきた  
さちこんぶ  
北の幸昆布と  
さいかうち は もの  
堺打刃物の出会い

P 12  
きんたろう せなか  
金太郎を背中にのせて  
ゆうゆう  
悠々と空を泳ぐ さいかい ご がつこいのぼり  
堺五月鯉織

こんぶ かこう さか  
昆布の加工が盛んに

さいかい ご がつこいのぼり  
堺五月鯉織ハワイへ輸出

だいにじ せかいたいせん  
第二次世界大戦の  
くうしゅう  
空襲でまちの  
大半が焼ける

ちゅうせん  
注染のゆかたや  
手ぬぐいが産業として  
堺で発展

しやうわじだい  
昭和時代

さいかいせんこう  
堺線香が  
全国シェアのトップに

げんだい  
現代

# さかいうちはもの 堺打刃物

さかいうちはもの  
**堺打刃物**とは何か？  
約600年の歴史を誇る堺打刃物は、「鍛冶」、「研ぎ」、「柄付けや仕上げ」という3つの工程を、それぞれ違う職人が担当する「分業制」でつくられています。職人たちの技術が結集した包丁は切れ味が鋭く、日本だけでなく、今や世界中の料理人から愛されています。



3コマでわかる

さかいうちはもの  
堺打刃物の歴史



## さかいうちはもの 堺打刃物の種類

### やなぎば ぼうちよう 柳刃包丁

刺身をひくための包丁。刃の形が柳の葉に似ていることがその名の由来といわれている。



### でば ぼうちよう 出刃包丁

魚をおろすのに用いられる包丁で、分厚くて丈夫なつくりになっている。



### うすば ぼうちよう 薄刃包丁

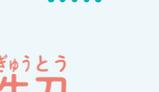
野菜を切ったり皮をむいたりするための包丁で、関西は「鎌型」、関東は「江戸型」が主流。



### えどがた 江戸型



### かまがた 鎌型



### わぎゅうとう 和牛刀

洋包丁の中で最も一般的な包丁に、和包丁の柄を合わせている。



### ざんとく ぼうちよう 三徳包丁

家庭で一般的に使われる万能包丁。



さかいうちはもの  
堺打刃物ができるまで

## START

### かじ 鍛冶

#### 1 はがねつ 刃金付け



熱した地金（軟らかい金属）の上に、型にあわせてつくった刃金（硬い金属）をのせ、叩いて2つを合わせます。

約1000度で熱された金属は真っ赤！

#### 2 はんけ 半形・切り落とし・中子取り



金属の先の部分を整えた後（半形）、程よい大きさで切り落とし、中子（包丁の持ち手にさす部分）をつくります。

#### 3 うち広げ うらばい 藁灰入れ



既定の大きさになるまで包丁を叩き伸ばしたら、藁灰の中に入れてゆっくり冷まします。

藁灰が燃えた後の灰で冷ますよ

#### 4 あらだたき グラインダー・バフ当て



歪みを叩いて調整し、回転する砥石で表面をなめらかにします。

#### 6 や 焼き入れ・焼き戻し



もう一度包丁を熱し、水に入れて一気に冷まします。最後に低温でじっくりと熱します。

この工程で欠けにくく強い包丁になる

#### 5 た 断ち廻し・摺り廻し



つくる包丁の型に合わせて切り、表面のひずみなどを整えます。

#### 8 ほん 本研ぎ・歪みとり・バフ当て



より目の細かい砥石で研ぎます。

裏面も歪みのないように研ぎます。

#### 7 荒研ぎ 平研ぎ



【荒研ぎ】一番最初の工程で刃を薄くします。【歪みとり】刃を研ぐと歪みが出るので修正します。【平研ぎ】平らな面を研ぎ上げます。

刃先も研いでいくよ

#### 10 かすみ 小刃合わせ



刃のつやを出した後、仕上げに刃先を整えます。

#### 9 き 木砥あて・際引き



回転する「木砥」といわれるものでつやだしをします。際引きは、しのぎをハッキリとさせます。

#### え 柄付・仕上げ

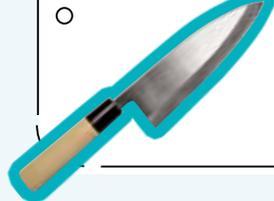
#### 11 え 柄を付ける



熱した中子を包丁にさし、柄の底面を木づちで叩いて包丁に柄をつけます。

まっすぐに  
なるよう何度  
も確認！

#### 13 かんせい 完成



包丁に銘を入れ、角度を最終調整します。

#### 12 めい 銘入れ・歪み調整



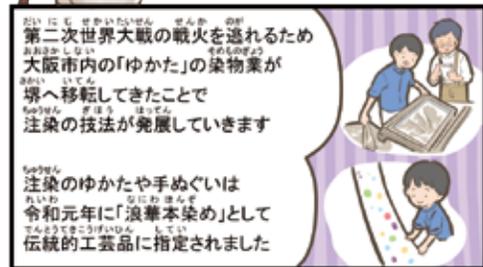
# 浪華本染め

なにわほんぞ  
浪華本染めとは何か？  
堺は木綿産業が盛んな河内・和泉の間に位置することから、生地を染める下準備＝「晒」の技術が発展しています。洋晒に比べ、柔らかく吸水性に優れた和晒。堺では注染という技法で染め上げられます。近年では、その多くが手ぬぐいとして加工されています。



3コマでわかる

浪華本染めの歴史



## 手ぬぐいの使い方

手ぬぐいは、1枚あれば暮らしのさまざまなシーンで役立ちます。自分好みにアレンジして楽しんでみましょう。

**つつむ**  
例：お弁当包み、ティッシュケース、ブックカバー、ペットボトルホルダーなど

**ぬぐ**  
例：手拭き、食器拭き、メガネ拭き、おしぼりなど

**ま巻く**  
例：バンダナ、スヌード、包帯の代わりなど

そのほか、**テーブルクロス**や**タペストリー**などインテリアにも！

浪華本染めができるまで

### START

#### 和晒



数十種類の中から、加工するものに合った生地を選びます。

#### 1 和晒工程

##### 釜入れ・釜焚き



生地をかごに詰めて大きな釜で炊きます。漂白され、不純物などが取り除かれた生地は真っ白になります。



釜を運ぶ様子。まるで大きなクレーンゲームみたい

釜のふたを開けた瞬間は、はくばくとした迫力満点！

#### 2 完成

次は注染の工程へ

#### 注染

##### 1 糊置き



絵柄を切り抜いた型の紙の上から糊を置きます。糊を置き終えた生地は、柄がずれないように重ねていきます。

##### 乾燥



約110℃に温められた大きなローラーに通し、乾燥させます。

昔は天日干ししていたよ

##### 脱水



きれいになった生地を脱水します。

##### 2 土手引き



色同士が混ざらないよう、染める部分に「土手」をつくります。

一度に何十枚もの生地を染められるよ

生地が風に揺れる姿が美しい

##### 5 完成



天日干しで生地を乾燥させます。

##### 3 注ぎ染め



土手に「ドヒン」と呼ばれる道具を使って、染料を注ぎます。同時に裏から吸引し、生地に均等に染料を浸透させます。裏面にもこの作業を行います。

##### 4 水洗い



生地を水で洗い、糊を洗い落とします。

染め終わった生地はこんな感じ

# さかいせんこう 堺線香

さかいせんこう  
**堺線香**とは何か？

堺の線香は、厳選した天然の香料を組み合わせているのが特徴で、「香りの芸術品」ともいわれています。堺は古くから外国との交流が盛んだったこともあり、原料となる香木が手に入りやすかったことが、線香づくりの発展に関係していると考えられます。



3コマでわかる

さかいせんこう  
堺線香の歴史



## さかいせんこう 堺線香の種類

線香は長さによって種類が異なります。一寸は約3cm、一尺は約30cmの長さを表す言葉で、その線香をあげる際に読むお経の長さによって使い分けられます。

### ちようじゃくせんこう 長尺線香

燃える時間：2～3時間  
お寺で使われる線香のなかでも、法要など、長時間行われる行事で使われることが多い。



### ちようすんせんこう 長寸線香

燃える時間：約45分  
主に寺で使われる。



### たんすんせんこう 短寸線香

燃える時間：約25分  
家庭の仏壇や、お墓参りであげられることが多い。



ほかにたくさん！  
近年では、香りを楽しむためのお香も人気。

さかいせんこう  
堺線香ができるまで

### START

線香の原料はこれ！



線香の香りの正体は、「香木」(香りのする木)を粉末状にしたもの。数十種類を混ぜ合わせて使います。

### 1 練り



香りの粉に、お湯を少しずつ入れて混ぜていきます。

お湯を入れた瞬間、香りがふわっと広がる！

### 2 玉



混ぜ終わったら、「玉」と呼ばれる形に整えます。1つの玉からできる線香は、なんと約17280本！

玉は紙粘土  
みたいなさわり心地だよ

### 4 生付け



盆にのせた線香を、板の上に並べていきます。やわらかい線香を移動させるのは、実はとっても難しい！

どんどん線香が並べられていく…！

使う道具も職人の手づくり

### 3 盆切り



機械から押し出される線香を、ほどよい長さに切っていきます。「盆」と呼ばれる板の角度が重要です。

### 5 胴切り



専用の機械で、必要な長さにカットした後、少し時間を置きます。

### 6 板寄せ



線香の曲がり防ぐため、乾燥によって生じた線香同士のスき間を埋めます。

### 7 乾燥



約1日、強制乾燥させます。

比較すると…



すき間がなくなった！

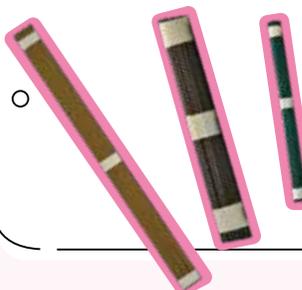
香りのムラをなくすために、2～3週間置いておきます。

### 8 たばあげ 把場



種類ごとに、決まった量の線香を束ねていきます。

### 9 かんせい 完成



# 手すき昆布

## 手すき昆布とは何か？

その名の通り、1枚1枚職人の手ですき昆布のこと。刃物づくりの盛んな堺では、昆布をすく包丁をつくりやすいこともあり、江戸時代から昆布の加工が行われていました。こぶうどんにバッテラ寿司…大阪の食を支える昆布加工品の多くは、堺でつくられているのです。



### 3コマでわかる 手すき昆布の歴史



## 手すき昆布の種類

### 1. おぼろ昆布

昆布の表面を帯状に薄くけずった昆布で、うどんやお吸い物など、汁物との相性が抜群。残った昆布は3.の白板昆布になります。



### 2. とろろ昆布

昆布の表面を糸状に削った昆布。表面は「黒とろろ」、削っていくと「白とろろ」になります。おにぎりやふりかけなど、何にでも合う優れたもの。



### 3. 白板昆布

おぼろ昆布で使った昆布の芯の部分。大阪名物・バッテラ寿司に欠かせない昆布です。正月の鏡餅の飾りに使われることも。



### 4. すき昆布

駄菓子の一つで、酢をベースにした調味料で味付けした昆布。ほどよい酸味と昆布のうま味がくせになる、老若男女に愛される味です。

## 手すき昆布ができるまで

### START



北海道の道南地方でとれた「白口浜産真昆布」を使います。切り口が白いことがその名の由来。

北海道道南地方白口浜

### 1. 漬けまえ



昆布のうま味がつまった酢はいい香り♪

昆布を2回酢につけます。漬ける時間は季節や昆布の状態によってさまざま。

### 2. はきまえ



削る前に、1枚1枚表面の砂や汚れをおとします。

### とろろ昆布

#### 目打ち



昆布をすく前に、包丁の刃先に細かい目を打ちます。ノコギリ状の刃にすることで、糸のように細く昆布をすくことができます。

### 3. 昆布をすく



アキタを入れる

包丁の切れ味が悪くなったから、研ぎなおし、専用の道具を使って刃先の角度を調整します。この作業を「アキタ」といいます。

### おぼろ昆布



後ろが透けて見えるほどの薄さ！

足で昆布を押さえ、昆布をすいていきます。残った昆布の芯は白板昆布に。昆布にはむだになる場所がひとつもありません。

### 4. 完成



#### 手すき



「サッサッ」という心地よい音とともに、あっという間に1枚の昆布がとろろ昆布に大変身。

# さかいておりだんつう 堺手織緞通

さかいておりだんつう  
堺手織緞通とは何か？

緞通とは中国から伝わり、日本で織られるようになった手織りの敷物のことです。堺の緞通は江戸時代に誕生し、明治時代には外国にも盛んに輸出されました。手織りならではの細かくて美しいデザインと風合いは、世界でも人気を集めました。



3コマでわかる！

さかいておりだんつう  
堺手織緞通の歴史

江戸時代 堺の糸物商・藤本庄左衛門は中国や九州の緞通を参考に「堺緞通」と名づけて売り出したことが始まりです

明治時代 内国勲業博覧会で欧米に紹介されると日本の重要な輸出品としてたくさんつくられるようになります

2006年には大阪府の無形民俗文化財に！職人たちが講習会を実施するなどその歴史を未来につなげるための活動が行われています

## とくちょう 堺手織緞通の特徴

### 1. 合糸

2本の経糸に4本の横糸を結んでいく緞通。通常は4本とも同じ色の糸を使いますが、堺では1本ずつ違う色を合わせる「合糸」という技法も盛ん。「合糸」は通常よりも複雑な柄を編むことができます。



### 2. 手織り



現在、織物のほとんどが機械で織られるなか、堺手織緞通は手織りの技法を今でも大切に受け継いでいます。熟練の職人でも、1日に織れるのはわずか4~5段なのだから。そうして時間をかけて織られた緞通は、何十年と使える一生ものになります。

さかいておりだんつう  
堺手織緞通ができるまで

### START

#### 1 せいけい 整経

大きな糸巻きを使うよ



糸を織機に巻きつけ、経糸(縦方向の糸)をセットします。

#### 2 お織り



織る場所を図案で確認



経糸に色糸を結び、切ることを繰り返して織っていきます。

#### クローズアップ



一段織り終わったら、経糸の間に横糸(横方向の糸)を通します。



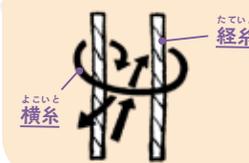
はさみでちよきん!



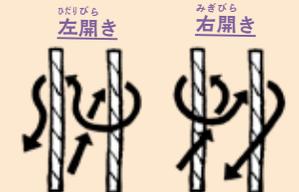
2本の経糸に4本の色糸を結んで...

#### 結び方

##### トルコ結び



##### ベルシャ結び



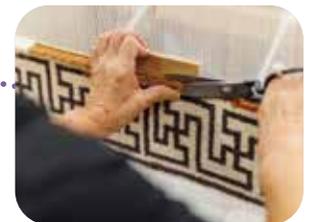
「箴」はとても重くて力のある作業なんだ



「箴」で、横糸を上からトントンとおさえます。



くしを使って、糸の方向を整えます。



専用の板と同じ厚みに糸を切り戻します。ここまでの作業を一段ずつ繰り返していきます。

#### 3 かんせい 完成



織り終わったら、端を処理して仕上げます。

# さかいごがつこいのぼり 堺五月鯉幟

さかいごがつこいのぼり  
堺五月鯉幟とは何か？

紙でできた鯉をヒントに生まれた堺五月鯉幟は、全国でも数少ない手描きの制作方法でつくられています。数十種類の筆を使い分け、一筆一筆に思いを込めてつくられた鯉幟は、子どもの日を祝う縁起物として明治時代から今も変わらず、人々に親しまれています。



3コマでわかる！

## 堺五月鯉幟の歴史



## 堺五月鯉幟の 特徴

### 1. 手描き

筆の勢いの良さや細かな表現は、手で描くからこそ成せる技。描くものは同じでも、仕上がりは1つひとつ違います。



### 2. 金太郎がまたがっている

堺五月鯉幟のトレードマークといえば金太郎。足の人差し指が親指より長いのは、「親を越えていけるように」という思いが込められています。

### 3. 鯉らしい形

金太郎が背中に乗る分、堺の鯉幟は胴幅が太く、口幅も大きくなっています。風を受けて悠々と空を泳ぐ姿は、まるで本物の鯉のよう。



### 4. こだわりの色

色つけに使うのは、世界中から探し集めたこだわりの顔料（※）。特に金太郎に使う赤色は、パワーみなぎる鮮やかさが魅力です。※絵の具のもとにもなる、色の粉。



さかいごがつこいのぼり  
堺五月鯉幟ができるまで

**START**

1 しるし付け・目入れ

くるくるまわすと  
きれいな円が  
描けるんだ

下描きなしの  
一発勝負！

鯉を描く前に、  
先に背中に乗る  
金太郎を描いて  
いきます。

2 骨描き・ぼかし

骨描きは一筆で  
描き切るのが  
ポイント

キリで布にしるしをつ  
け、まずは鯉の目を描  
いていきます。使う道  
具は、「ぶんまわし」と  
いう竹でつくったコン  
パスの先に刷毛をつ  
け、円を描きます。

3 うす入れ

うろこやひれに薄い色を  
入れます。

鯉のひげやうろこなどを描きつ  
つ、同時に色をつけます。色をつ  
けたところはきれいなグラデー  
ションになるようぼかします。

4 毛はけ

刷毛の先が命！  
やさしく&勢い  
よく刷毛を動か  
すのがポイント

このひと手間  
が大切

5 めばり

金太郎の目にもぼかしを  
入れることで、生き生き  
とした表情に。

最後にアルミ板でできた鯉  
の目を貼ります。

6 完成

さかい でんとうさんぎょう  
堺の伝統産業を  
もっと知りたく  
なったら...

# さかい でん しょう かん 堺伝匠館へ 行ってみよう!!



さかい でんとうさんぎょう しょうかい てんじ こう たいけん  
堺の伝統産業を紹介する展示やお香づくり体験などの  
イベント、伝統産業品や堺ゆかりの商品を販売しています。  
はもの と けんぎ など を 間近 で 見学 できる 実演 も あります。

## 1F ショップ

タクミ ショップ ほうちよう といし  
TAKUMI SHOP [包丁・砥石]



かてい 家庭用からプロ用  
まで、さまざまな  
包丁を販売してい  
ます。



## タクミ ショップ TAKUMI SHOP

でんとうさんぎょうひん さかいさんひん  
[伝統産業品・堺産品]

ちゆうせん わざらし せんこう こんぶ  
注染・和晒、線香、昆布  
でんとうさんぎょうひん はん  
などの伝統産業品を販  
売しています。



## 2F 展示

さかいはもの カット  
堺刃物ミュージアム CUT

さかい いろいろな ほうちよう  
堺で生まれた色々な種類の包丁を  
紹介する展示室。なかでも約 300  
本の包丁の素材を使ったシャンデ  
リア“HIBANA”は圧巻です。



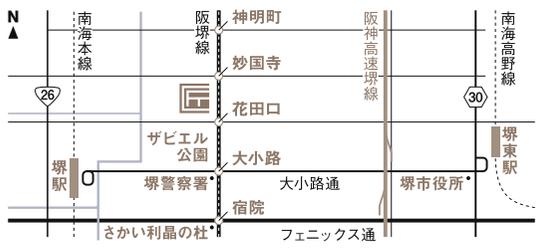
## タクミ エキシビション TAKUMI EXHIBITION

でんとうさんぎょうてんじ  
[伝統産業展示]

ちゆうせん わざらし せんこう こんぶ かこう しまもの さかいくが  
注染・和晒、線香、昆布加工、敷物、堺五月  
こいのぼり わがし れきし せいぞうこうてい しょうかい  
鯉幟、和菓子の歴史や製造工程などを紹介す  
る展示室です。



さかい でんとうさんぎょう ぜんぶ さかいでんしょうかん  
堺の伝統産業の全部が詰まった堺伝匠館に、ぜひ足を運んでみてくれ!



住所 〒590-0941 堺市堺区材木町西1-1-30  
電話 072-227-1001 FAX 072-227-5006  
開館時間 10:00～17:00 休館日 第3火曜日(祝日の場合は翌日、12月29日～1月3日) ※その他臨時休業あり 入館料 無料



堺伝匠館公式  
ホームページ



堺伝匠館公式  
Instagram